

# KTK いづみ福祉会を 守る会だより

2021. 春 NO.65



☆児童デイサービス☆  
～しめ縄を作りました～  
グループホームにお届け！

## みんなで知恵をだし合っ...

2021年の新しい年を迎え、本年もどうぞよろしくお祈りします。

昨年は新型コロナウイルス感染症の恐怖に明け暮れ、感染予防対策に費やした一年でした。

そんな中、福祉の現場でも従来の事業が展開できず、中止や自粛等で断念せざるを得なく、はがゆい一年でした。

今年に入っても縮小するどころか、更に感染が拡大され更なる対策強化を続けながら、施設や事業所を信頼して、ご利用いただく皆さん方のために、更に最善の努力を重ねていかなければなりません。

国の施策が、我々国民の希望や要望とは裏腹になかなか思うように進まず本当にはがゆ

## 南山城社会福祉協議会 会長 安場 昭和

い限りではありますが、少しでもご利用いただく皆さんのため、今年はコロナに負けない、コロナ禍の中で何が大切なのか、何が出来るのか、みんなで知恵を出し合って工夫していかなければと思います。コロナ禍の中で経済が不安定であります。そんな中だからこそみんなで助け合い、協力しながらこの局面を乗り切っていきましょう。障害者や高齢者が安心した生活が送れますように、福祉の現場で働く我々役職員が団結しこの苦境を乗り越えていきましょう。

結びにあたり、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、今年もご指導ご鞭撻頂きますよう、お願い申し上げますご挨拶とさせていただきます。



～ 特 集 ～

# 新型コロナウイルスに負けない！ 新たな生活のかたちを探る！



一昨年12月に中国の武漢市で報告された原因不明の肺炎は、『COVID-19』（新型コロナウイルス感染症）と名付けられ世界中に拡散し、今なお終息の気配が見えない状況となっています。当初のウイルスの特性が分からない状況から、少しずつ有効的な感染予防の方法が明らかとなり、私たちの生活もそれに合わせた変化が求められるようになりました。

まだまだ先が見えない状況のなかではありますが、新型コロナウイルス流行状況のなかでの法人内の工夫や変化をお伝えしたいと思います。



## ワーキングセンター

イベントなどの中止により、販売の機会がなくなり、売り上げは厳しい状況が続いています。秋の旅行も中止にせざるを得ない状況となりました。

それでも、日々の作業や活動は感染予防を徹底しながら、続けています。給食は密をさけるため、作業場なども活用しながら、分散して食事をしています。

また、コロナウイルスやマスクの必要性などもオリエンテーションなどで、みんなで勉強しています。

## 児童デイサービス

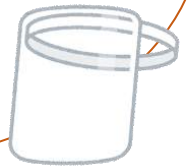
1回目の緊急事態宣言時は学校が休校になるなど、子どもたちにも大きな影響が出ました。外出や夏のプールなどのお楽しみの行事はできなくなりましたが、工夫をしながら元気に活動をしています。

今年度から始まった土曜日の活動も、交通・調理・販売に分かれて、がんばっています。

## ワーキングサポートちくたく

前号でもお伝えをさせていただいた通り、一時は下請け作業が全くなくなる事態となりましたが、行政からの注文もいただき、作業も少しずつ戻ってきています。

先日はフェイスシールド作成のお仕事をいただきました。



## 第一いづみ荘&第二いづみ荘

グループホームでも食事時やリビングでの密の回避や換気など、感染予防を徹底しながら、安心して生活を送っていただけるよう取り組んでいます。

なかなか外出できず、さみしい…との声が聞かれます。

## 相談支援センター 地域活動支援センター

相談業務については、それぞれのご利用者のご希望を伺いながら、電話での相談に切り替えるなどの対応を行なっています。



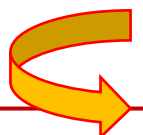
## サービスセンター

ホームヘルプについてはご家庭での生活に必要な支援であるため、感染予防を徹底しながら、訪問を続けています。

外出支援は様々な工夫をしながら、密を回避するなど…模索中。人にとって余暇って本当に大切なんだと改めて感じました！

次ページ以降の報告につきましては…

4月に発出された緊急事態宣言が5月21日で解除となり、それ以後、1月13日に再び緊急事態宣言が発令されるまでの間の取り組みの紹介となります。



# 新型コロナウイルスに負けない！新たな生活のかたちを探る！

## パート1

### ワーキングセンター 美術クラブ編

1



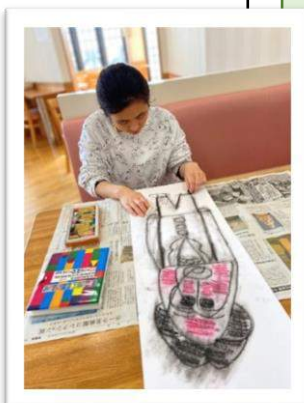
ワーキングセンターでは、楽しみや自己表現の一環として美術クラブを行っています。毎回、ボランティアの加藤先生に来ていただき、色々なテーマに沿って創作や絵を描いたりしています。当初は密を回避するために、クラブも中止にしていたのですが、楽しみや余暇が制限される生活のなか、楽しめる活動を少しでも提供したいとの思いで、感染予防や密にならないように工夫をしながら、美術クラブを再開しています。

新型コロナウイルスの流行がみられる今、開催を断念した取り組みがいくつかあります。美術クラブも開催しても良いのかどうかたくさん悩みましたが、ご利用者から「美術ないな、やりたいな」などの開催を希望するたくさんの方がいました。

では、どうすれば開催することができるのか？まず昨年に比べ、グループ数を増やし少人数にしました。そして1人1テーブルにすることで、人との距離を保てるようにしました。少人数のため、楽しさが半減してしまうのではないかと気がかりでしたが、少人数のおかげで一人一人と濃く関わりを持つ事ができ、会話も多くする事ができました。楽しく美術に取り組んでおられる様子が見られ、今年度美術クラブを開催する事ができてよかったなと実感しました。

今年度のテーマは「みんなで繋がろう～自分人形を作って飾って～」です。作品は、自分の似顔絵を画用紙に描きダンボールに貼り一人一人飾ります。最後には5グループ分の作品を集めて大集合する予定です。また完成した作品を見ていただける機会があればいいなと思っています。

(藤田)



#### 加藤先生にインタビュー

Q.工夫していただいていることはありますか？

A. コロナ禍においてもできることとして、自分の机で制作したものを最後にひとつに展示して、合作作品と見えるように工夫しました。自分の姿を描いた紙をダンボールに貼り付けて厚みを出し、ボタンやモールで少し立体的なオーナメントに。最後は一本の木のタペストリーに飾りました。

Q. やってよかったことを教えてください？

A. 今回、少人数のグループに分けたことで、余裕を持ってお一人お一人の作品に私も向き合うことができましたし、何より好きなことを好きな表現でカタチにする美術クラブの時間を皆さんとても楽しんでおられました。こんな時だからこそ、人と人とのつながりや結びつきを大切にしたい。そんな思いの伝わる素敵な作品が、見る人のこころも温めてくれるといいなと思います。

(美術クラブ・加藤史江)



サービスセンターは居宅介護事業（ホームヘルプ）、移動支援・行動援護事業（ガイドヘルプ）などを行っている事業所です。そのうち移動支援・行動援護事業ではご利用者の方々にヘルパーが付き添い、お買い物や映画鑑賞、カラオケやボウリングなど、余暇を楽しく過ごしていただく取り組みを行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大のなかで昨年4月に出された1回目の緊急事態宣言による“不要不急”の外出自粛要請を受け、事業を縮小させざるを得なくなっていました。

ただ、人の暮らしには「働く場・活動の場」「生活の場」「余暇・レクリエーションの場」

という“三つの場”が必要とされています。移動支援や行動援護はそのうち「余暇・レクリエーションの場」に関わる事業ですが、これをゼロにすると生活に潤いが足りなくなり、ご利用者のストレスが増える可能性が生じてしまいます。

そのためサービスセンターでは、いわゆる三密を避け、時間を短縮しながらでも何とかご利用者の余暇を確保できないかとあれこれ知恵を絞ってきました。今回、行動援護事業ご利用者のAさんのケースについて、ご家族様にインタビューをさせていただきましたのでご紹介します。



## ご家族にインタビュー

**Q：**Aさんは去年の3月まで、月に1回人通りの多い場所へ電車に乗ってお出かけされていましたが、4月からは車で広い公園に行つてのウォーキングに変更させていただきました。それについてどう感じられましたか？

**A：**緊急事態宣言のなか、全く外出ができなくなった方もおられると聞いていましたが、休まず実施してもらえてとてもありがたいです。本人は「行き先が変わってへんやな？」と思っているかも知れませんが。

**Q：**実際に公園に行かれるようになってご様子は変わられましたか？

**A：**以前と同じように“楽しかった”みたいな顔で家に帰ってきています。外出から去りがたいのか、家に近づくと少し興奮するようです。ただ「電車」と言うこともあるので、電車での外出を復活してほしいと思っているかも。

**Q：**Aさんにとっての余暇とは？

**A：**家族以外の人、普段通っているワーキングセンターの職員さんでない人と楽しい体験をすることが大切だと思います。家族とだで行くところも限られますが、ヘルパーさんとなら歩ける。月1回会う人なので楽しく過ごせていると思います。

## かもの恩返しさんの記念誌『17年のあゆみ』が完成しました！



新型コロナウイルス感染予防で、密閉した場所で、密集して、密接になる状態を避けるようにとの方針で、かもの恩返しは2020年4月から定例会を中止。ボランティア活動も全て自粛に入り、ボランティア仲間は、家族以外の生身の人間に会えない生活に入っていました。

他の人間に会って、笑ったり、首を傾げたりする表情が見えない生活は息が詰まる日々になりました。このままでは、これまでに築いてきた絆がなくなってしまうのではという不安に襲われ、これを何とかしたい。「これまでのようにいかなくても良い…何かつながるものを創らなくては、これまでのつながりを未来につなぐ事は出来ないのでは」と思い、自分たちの活動を振り返り、その中に「自分にはないものとの出会いが活動のエネルギーになっている」ことを



仲間と共に確認できるものとして「かもの恩返し17年の振り返り」を作る機会としました。コロナ禍の一年間の私の仕事として取り組み、多くの人の協力で発行する事が出来ました。

内容についての反省や課題もあるが、みんな繋がっている事の証になればと思います。  
(かもの恩返し 西嶋)



### ワーキングセンターからのお知らせ

#### パン班からのお知らせ…

下記の日程・場所で販売をしています。

第1・3金曜日 11:45～ 木津川市役所

第4火曜日 11:45～ 木津川市役所

第2・4金曜日 11:45～ 山城南保健所  
加茂支所

お近くに來られた際は、是非お立ち寄り下さい。

★「お花見パン」や「桜フィナンシェ」など  
春の限定商品とお待ちしております♪  
お電話でのご注文も承ります★



#### クラフト班からのお知らせ…

#### 「草木染め」体験募集

[体験日] 平日(月～金曜日)

※土日もご相談に応じます。

[場所] ワーキングセンターいづみ

[体験内容] ショール(3,300円)、  
エコバック(1,300円)、  
ハンカチ(800～1,000円)

[体験時間] ①10:00～ ②13:00～  
(2時間程度)

[定員] 少人数でも承ります。

★ 電話またはメールでご連絡下さい。

#### 「草木染め」販売会 案内

● 3月9日(火)～18日(木)

[場所] 奈良町物語館

[時間] 11時～15時

※土日祝日のみ 10時～16時



# 会費納入ありがとうございました！！



2020年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。  
個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）

（2020年12月11日～2021年2月10日受付分）

秋本 聡子	石田 晴一	大谷 恭晃子	大西 波久美	川口 和彦	北川 昭博
黒川 嘉代子	坂本 利正	坂本 良子	白井 謙	炭本 武	竹中 和子
西山 幸千子	福岡 節子	福田 道雄	松本 清次	丸岡 伸子	森 功
横井 ゆき子	吉中 俊子	岡本 悠祐			

…会費は法人の窓口を持って来ていただくことも大歓迎です。

\*郵便局からの情報が届くまでに時間がかかり、この期間にお振込みをいただいたにもかかわらず、お名前を掲載できていない方がおられる可能性があります。ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。

## ご寄付ありがとうございました。

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2020年12月11日～2021年2月10日受付分）

お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不同）

橋本 悦子様	村上 智乃様	西本 義尚様	南本 妙子様	小出 耕資様	安 千夏様
高橋 様	金辻 様	川畑 かおり様	西山 嘉章様	石田 明美様	奥野恵津子様
大森和歌子様	乾 朋樹様	阪田 真有様	岡本 悠祐様	馬場 久代様	富岡 由美様
井倉 万翼様	廣尾 操様	荒川 智行様	土井 知恵様		
田山南部共同製茶工場様	道の駅みなみやましろ村様	木津川市更生保護女性会様			
恭仁小学校様	阪田モーター商会様	グリーンティー高尾様	コーカ共同製茶様		

現金、ベッド、机、椅子、掃除機、ポット、ミキサー、寸胴鍋、湯たんぽ、マッシャー、水筒、大皿、お茶碗、湯呑み、コップ、タンブラー、タオル、長靴、スリッパ、洗剤、キッチンペーパー、ティッシュ、オムツ、カレンダー、雑誌、パズル、お米、もち米、カレー、にんじん、玉ねぎ、じゃがいも、大根、白菜、ほうれん草、キャベツ、小松菜、水菜、りんご、バナナ、梅干し、砂糖、お菓子、お茶、ほうじ茶、グリーンティー、コーヒー

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。また、ご家庭に不用品なタオル、ご飯茶わん、電気ポット、掃除機、洗濯洗剤、マグカップ、お湯呑み、雑巾、ビーズ、長靴（大人用）、大きなプランター、フードプロセッサー、加湿器、パズル、ミキサー、子ども用自転車がありましたら、よろしく申し上げます。

衣類につきましては、たくさんのご支援をいただき、受付を終了させていただきます。

### 編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地

TEL：0774-66-4114 FAX：0774-76-0070

URL：<http://www.idumi-fukushikai.or.jp>

#### 《 編集委員 》

ボランティア団体：西嶋 いづみ家族会：来住

法人職員：丸岡伸、大久保、服部、土井

1992年6月5日第三種郵便物認可（毎月1回25日発行）  
2021年3月19日発行 KTK増刊通巻第5102号

発行所  
発行人

京都障害者団体定期刊行物協会  
高谷 修 〒602-1814 4

075-8242691  
京都府上京区丸太町通黒門東人藁屋町5361

頒価1000円 会員の購読料は、会費に含まれています。  
元待賢小学校1階 京都難病連内